

令和5年度 国語科「現代の国語」シラバス

北部農林高等学校 全日制課程

| | | | | | | | |
|-------|-------------------------|----|------|----|--|----|--------------|
| 科目 | 現代の国語 | 単位 | 2 | 学年 | 1 | 担当 | 北部農林高等学校 国語科 |
| 使用教科書 | 高等学校 新編現代の国語 (第一学習社) | | 副教材等 | | 「新編現代の国語学習課題集」準拠ノート (第一学習社) 「常用漢字1・2ワンツートライ 5級から2級」 (浜島書店) | | |

| | |
|---------|---|
| 学習の到達目標 | <p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p> |
|---------|---|

| 評価の観点 | | |
|--------------------------|---|--|
| a. 知識・技能 | b. 思考・判断・表現 | c. 主体的に学習に取り組む態度 |
| 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。 | 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 | 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもって言葉を効果的に使おうとしている。 |

評価の方法

評価はABC観点別評価で行う。定期考査、臨時考査（漢字小テスト、朗読テスト等）、提出物（ワークシート、鑑賞文、感想文等）などを評価対象とする。

授業の形態

熱帯農業科、園芸工学科、林業緑地科、生活科学科、食品科学科それぞれ一斉授業を行う。

学習方法

年度の最初の授業で、「現代の国語」について説明し、評価の方法等を説明する。

その他留意点

「常用漢字1・2ワンツートライ 5級から2級」（浜島書店）の活用・国語辞典の活用・図書館利用・漢字検定の受検奨励。

| 学年 | 学期 | 単元 | 学習項目 | 学習内容及び評価の観点 | a | b | c | 評価方法 |
|----|----|----|----------------------|---|---|---|---|--|
| | | | | | | | | |
| 1 | 4 | 1 | 読書のしるべ | <ul style="list-style-type: none"> 読書の意義と効用を理解する。 教材のテーマやキーワードから積極的に興味や関心を広げ、関連する書籍を読もうとしている。 | ○ | | ○ | 授業態度 ワークシート |
| | | 6 | 「未知」はいくらでもある(宮内悠介) | <ul style="list-style-type: none"> 実体験を踏まえて提示された「未知」に対する筆者の捉え方を理解し、自分に照らして考えを深める。 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する。 世界の捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 常用漢字を文や文章の中で活用する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 例示などの修辞を理解する。 主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えようとしている。 本文を粘り強く読み、個別の事例と筆者の主張との関係を理解しようとしている。 積極的に自分の体験から適切な題材を決め、文章にまとめようとしている。 話し言葉と書き言葉の特徴を積極的に理解し、会話を地の文で表現した効果について発表しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 授業態度 発問 音読 発表 提出物 ワークシート テスト |
| | 5 | 6 | 言語としてのピクトグラム(本田弘之) | <ul style="list-style-type: none"> ピクトグラムが持つ「言語」としての機能を理解し、言語表現の多様性について考えを深める。 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する。 日本のピクトグラム揭示の特徴について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 言葉には、認識や思考を支えるはたらきがあることを理解する。 常用漢字を文や文章の中で活用する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 例示などの修辞を理解する。 主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 積極的に写真を伴う文章を読み、解釈したことをまとめて発表しようとしている。 学習課題に沿ってピクトグラムの問題点や修正案を考え、積極的に発表しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 授業態度 発問 音読 発表 提出物 ワークシート テスト |
| | 6 | 4 | 話し方の工夫 | <ul style="list-style-type: none"> 話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解する。 相手により伝わりやすい表現方法を理解する。 積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って話し合おうとしている。 積極的に場の状況に応じて言葉遣いを選び、学習課題に沿って使おうとしている。 積極的に婉曲的な表現を用い、学習課題に沿って使おうとしている。 積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表をしようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 授業態度 発問 発表 提出物 ワークシート テスト |
| | | 4 | 図書委員会のポスターの掲示内容を検討する | <ul style="list-style-type: none"> 与えられた資料と会話文を関連づけながら、課題に即して必要な情報を読み取り、活用する。 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 異なる形式で書かれた複数の文章を読み、理解したことをまとめる。 事柄が的確に伝わるように、表現のしかたを工夫する方法を学ぶ。 読み手からの助言などを踏まえて、目的に応じて書かれているかを確認、書き直す手順を学ぶ。 異なる形式で書かれた複数の文章を粘り強く読み、理解したことを学習課題に沿ってまとめようとしている。 複数の文章から読み取った情報を粘り強く吟味し、文章の構成に注意し | ○ | ○ | ○ | 授業態度 発問 発表 提出物 ワークシート |

| | | | 学習項目 | 学習内容及び評価の観点 | a | b | c | 評価方法 |
|---|---|---|-------------------|--|---|---|---|--|
| | | | | てまとめようとしている。 | | | | |
| | 7 | 4 | 実用的な手紙文の書き方 | <ul style="list-style-type: none"> ・実用的な手紙文として、依頼文と案内文の書き方を理解し、実践する。 ・相手に情報を適切に伝える文章の書き方を習得する。 ・教科書の例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、積極的に依頼文や案内文を書こうとしている。 ・書いた手紙文を進んで批評し合い、批評を踏まえて文章の構成・展開や表現を工夫しようとしている。 | | ○ | ○ | 授業態度 手紙文の提出 |
| 2 | 9 | 8 | 十六歳のとき（星野道夫） | <ul style="list-style-type: none"> ・人生の岐路となった筆者の旅を追体験することにより、世界にはさまざまな出会いがあることを知る。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えが的確に伝わるように、根拠の示し方を工夫する。 ・人生の岐路について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えようとしている。 ・本文を粘り強く読み、個別の事例と筆者の主張との関係を理解しようとしている。 ・筆者の事績を調べ、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して報告しようとしている。 ・積極的に比喩表現について理解し、文脈に沿って意味を説明しようとしている。 | | ○ | ○ | 授業態度 発問 音読 発表 提出物 ワークシート テスト |
| 1 | 0 | 7 | 臆病な詩人、街へ出る（文月悠光） | <ul style="list-style-type: none"> ・他者との関わりを通して自身の人生や生き方を省みる筆者の姿に触れ、自分自身を見つめ直す契機とする。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する。 ・人生や生き方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えようとしている。 ・本文を粘り強く読み、個別の事例に対する「チョーさん」の論理との関係を理解しようとしている。 ・本文を読んで考えを深め、表現を工夫して自分の体験や考えを書こうとしている。 | | ○ | ○ | 授業態度 発問 音読 発表 提出物 ワークシート テスト |
| 1 | 1 | 5 | スピーチで自分を伝える | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践する。 ・他の人のスピーチを聞き取り、評価する方法を学ぶ。 ・進んで材料を集めたり吟味したりし、今までの学習を生かしてスピーチを行おうとしている。 ・進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そうとしている。 ・積極的にスピーチを聞き、評価シートを活用して評価しようとしている。 | | ○ | ○ | 授業態度 発問 発表 提出物 ワークシート |
| 1 | 2 | 6 | 「材料科学」のゆくえ（佐藤健太郎） | <ul style="list-style-type: none"> ・材料科学の革新が人類の進歩に大きく貢献したことを理解し、本文に示された未来像について関心を深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する。 ・材料科学について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辞を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に沿って本文の構成を捉えようとしている。 | | ○ | ○ | 授業態度 発問 音読 発表 提出物 ワークシート テスト |

| 学年 | 学期 | 単元 | 学習項目 | 学習内容及び評価の観点 | a | b | c | 評価方法 |
|----|----|----|------------------------------|---|---|---|---|--|
| | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・本文を粘り強く読み、個別の事例と筆者の主張との関係を理解しようとしている。 ・学習課題に沿って積極的に実社会の中から適切な題材を集め、調べたことを報告しようとしている。 ・本文を読んで科学の発展と人間との関わりについて考えを深め、表現を工夫して自分の考えを書こうとしている。 | | | ○ | |
| 3 | 1 | 6 | 論理分析【対比】 「間」の感覚 (高階秀爾) | <ul style="list-style-type: none"> ・文章を分析的に読み、対比構造を用いた論理の展開について理解する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・事柄が的確に伝わるように、表現のしかたを工夫する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 ・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめようとしている。 | | ○ | ○ | 授業態度 発問 音読 発表 提出物 ワークシート テスト |
| | 2 | 3 | 書き方の基礎 レッスン | <ul style="list-style-type: none"> ・表記・表現の基本ルールを理解する。 ・接続表現の種類や用法を理解する。 ・比喻などの表現技法を理解する。 ・進んで表記・表現の基本ルールを理解し、正確で分かりやすい文を書こうとしている。 ・学習の見通しをもって接続表現の種類や用法を理解し、適切な接続表現を選ぼうとしている。 ・効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 授業態度 発問 発表 提出物 ワークシート 定期考査 |
| | | 4 | 身近な製品の取扱説明書を作成する | <ul style="list-style-type: none"> ・情報を的確に説明する方法を理解する。 ・情報を相手にわかりやすく説明する方法を理解する。 ・わかりやすい説明を実践できるようになる。 ・教科書の例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、積極的に身近な製品の取扱説明書を書こうとしている。 ・書いた説明書を進んで批評し合い、批評を踏まえて文章の構成・展開や表現を工夫しようとしている。 | | ○ | ○ | 授業態度 発問 発表 提出物 ワークシート |
| | 3 | 6 | 地域の魅力を紹介する | <ul style="list-style-type: none"> ・情報を的確に紹介する方法を理解する。 ・必要な情報や資料を収集・整理し、わかりやすい紹介文を書くために活用する方法を理解する。 ・教科書の例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、積極的に紹介文を書こうとしている。 ・目的に応じて題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を粘り強く吟味しようとしている。 ・書いた紹介文を進んで批評し合い、批評を踏まえて文章の構成・展開や表現を工夫しようとしている。 | | ○ | ○ | 授業態度 発問 発表 提出物 ワークシート |

単位数：2単位 年間授業時数：70時間